

(株)リンクス

企業再生コンサルティング・ファーム
日本ターンアラウンドマネジメント協会会員
栃木県宇都宮市幸町9-17 宇都宮ベンチャーズ201
TEL.028-634-5088 FAX.028-634-5089
http://www.rincs.biz

代表取締役
宅地建物取引主任者
インタビュー
佐藤 正人 × 清水 章吾
[俳優]



INTERVIEW
MASAHITO SATO × SHOGO SHIMIZU

《身の丈に合った企業再生》で地方の活性化に尽力する



清水 (株)リンクスさんは経営コンサルタントとして昨年九月に開業されたばかりです。まずは、これまでの経緯をお聞かせ頂けますか。

佐藤 私は新潟大学の経済学部を卒業後、昭和六十年に(株)足利銀行に入行し、約二十年の勤務の間にリストラ計画や事業再生のためのスキームづくりなど、企業再生をサポートする仕事に数多く携わり数々のノウハウを身に付けてまいりました。そして、同行の国有化に伴い平成十六年に退社し、たまたまご縁のあった会社で企業再生に携わらせて頂いたところお陰様で結果を出すことができました。そのことから周りの方々の後押しもありまして「これまでの経験を生かして、社会貢献や地域経済の活性化に役立ちたい」という思いが強くなり、思い切って起業した次第です。

清水 とても責任感のあるお仕事だと思われませんが、御社ではどのようなことを特徴に打ち出しているのでしょうか。
佐藤 私どものようなコンサルティング会社は都心部に比べて地方にはあまり存在しません。決して需要がないわけではありま

せんが、やはりそれぞれの企業の内容に合わせた適切なアドバイスを組み立てるとなると当然専門的な知識が必要となり、その分コストもかなり高くなってしまいます。そのため「相談をしたくてもできない」という地方の企業が多く存在しているのです。現在、都心部の経営状況は回復傾向にありますが、反対に地方の経営回復は充分と言えない状況ではありません。そこで、当社では無駄な作業を省いて効率的な手段を模索することでコストを安く、かつ迅速に企業再生できる方策を打ち立てました。いわば、《地方の身の丈に合った再生コンサルティング》を目指して事業を進めているわけです。

清水 なるほど。地方の企業にとって御社は強い味方となり得るのですね。御社は開業されてまだ間もないですが、順調に業績を伸ばしているとお聞きしています。今までのどのくらいの案件を手掛けてこられたのでしょうか。

佐藤 既に二社が企業再生を完了し、開業から五社の案件に着手しています。現在はある程度の顧客が付いてきましたので、この先三人のスタッフに加えて一人のスタッフを増員する形で企業再生を目指していきます。

清水 企業再生は「企業との契約」ということになるのでしょうか、実際にはどのような会社から依頼を受けますか。

佐藤 業績の悪化を止められず再生が急務となるようなところは当然ながら業歴の長い企業が多いですね。過剰債務や銀行からの借り入れが難しくなるなど、資金繰りが

厳しくなっているものの従業員を抱えていて生産性にも問題ないというケースが多いため、過去の負債や余分な資産を切り離すための方法や仕組みづくりをアドバイスしています。具体的には会社の分割や営業譲渡などで、真に必要なものだけを取捨選択してそれ以外のものは売却することで切り離しを行なっています。

清水 契約は再生が完了するまでということになるのでしょうか。

佐藤 基本的にはそうなのですが、再生が完了した後もある一定の期間は引き続き指導を依頼されることもありますね。

清水 悪くなっている状況を良い状態に持っていくことは相当なエネルギーを要すると思いますが、その点についてはいかがお考えですか。

佐藤 おっしゃる通り、コンサルティングを必要としているのですから当然その企業の状況はかなり厳しく、しかも社内人間はどこの悪いかが見えなくなっていることがよく見受けられます。ですから、心を鬼にしてかなりの辛口を言わざるを得ないことが多いですね。場合によっては「まずは机の上を整理すること」「電話の受け答えから改める」という基本中の基本から始めなければならぬケースもあるのですよ。私もやはり年上の方に苦言を呈することも多々あるので内心は申し訳ない気持ちもありますね。

清水 やはりそういった気苦労もおりなのですね。では、最後になりましたが今後の展望についてお聞かせ下さい。
佐藤 今の世の中はなかなか景気の良さを



実感できず、特に地方経済ではお客様と企業との相乗効果により良い循環が生まれなければ決して快方には向かいません。コンサルティングという業種柄、皆が物心両面で幸せになれるようサポートさせて頂きたいと思っております。まずはお客様に喜んで頂けるよう私どもが尽力し、そしてまたその次のお客様に尽くしていくという良い関係を築いていければと考えております。何にしても一人ではできないことはあります。社名の「リンクス」には、「人と人との繋がりを大切にしたい」という気持ちを込めています。今後も《初心忘れるべからず》の精神で社会貢献に取り組んでいきたいですね。

① INFORMATION

